その他の自立語

●**副詞**……状態や程度などを表す。主に連用修飾語になる。

(例) ゆっくり 歩く。(用言)
※連用修飾語が全て副詞とは限らないので注意する。
(例) 静かに 歩く (「静かに」は形容動詞)

・**状態の副詞**…「どのように」という状態や頻度を表す。
(例) ゆっくり・いつも・ざあざあ(擬音語(擬声語))・きらきら(擬態語)

・**程度の副詞**…「どれくらい」という程度を表す。
(例) とても・もっと・少し・かなり
※程度の副詞は、他の副詞や名詞を修飾することもある。
とても ゆっくり(副詞)　もっと 前(名詞)

・**呼応(陳述・叙述)の副詞**…話し手の判断や述べ方を表す。
下に決まった言い方がくる。
(例) もし(〜なら)・たとえ(〜ても)・全く(〜ない)
きっと(〜だろう)・まるで(〜ようだ)・なぜ(〜か)

●**連体詞**…常に連体修飾語になる。

(例) この 花(体言)
※連体修飾語が全て連体詞とは限らないので注意する。
(例) 赤い 花 (「赤い」は形容詞)

(〜の) この・その・あの・どの
(〜な) 大きな・小さな・いろんな
(〜る) ある・あらゆる・いわゆる
(〜た・だ) たいした・とんだ

●**接続詞**…前後の文や語をつなぐ。接続語になる。

(順接) だから・すると・したがって
(逆接) しかし・ところが・けれども
(並列・累加) そして・また・しかも
(対比・選択) 一方・または・それとも
(説明・補足) つまり・なぜなら・例えば
(転換) さて・ところで・では

●**感動詞**…感動・呼びかけ・挨拶・応答を表す。独立語になる。

(感動) ああ　(呼びかけ) ねえ
(挨拶) おはよう　(応答) はい・いいえ

付属語

●**助詞**……自立語の後に付いて、語句と語句の関係を示したり、
意味を付け加えたりする。活用しない。

(例) 鳥が飛ぶ。　私も笑う。　強くて優しい。　何ですか。

●**助動詞**…用言・体言や他の助動詞などに付いて、意味を付け加えたり、話し手の判断を示したりする。活用する。

(例) 走らない。　走った。　中学生だ。

確認テスト

(1) 例に従って、次の各文に含(ふく)まれる副詞に〰〰線を引き、副詞が修飾する文節に――線を引きなさい。また、副詞の種類をそれぞれ選び、記号で答えなさい。

(例) 私は ゆっくりと 歩いた。

① 街は たいへん にぎやかだった。 〔　　〕

② たぶん 彼(かれ)が いるのは 美術室だろう。 〔　　〕

③ すぐに 雨は 降りやんだ。 〔　　〕

ア 状態の副詞　イ 程度の副詞　ウ 呼応の副詞

(2) 次の中から、――線部が連体詞であるものを三つ選びなさい。

ア 大きい木が生えている。　イ 大きな木が生えている。

ウ きれいな花が咲(さ)いている。　エ いろんな花が咲いている。

オ ある日、クマを見た。　カ 森の中に小屋がある。

〔　・　・　〕

(3) 次の「こそあど言葉」の品詞をそれぞれア～ウから選び記号で答えなさい。ただし同じ記号を何度使ってもよい。

① これ〔　〕　② ここ〔　〕　③ こちら〔　〕

④ こんな〔　〕　⑤ こう〔　〕　⑥ この〔　〕

ア 名詞　イ 副詞　ウ 連体詞

(4) 次の各文の――線部が、接続詞ならア、感動詞ならイで答えなさい。

① ずいぶん時間がたった。だが、まだ着かない。 〔　〕

② もうすぐ到着(とうちゃく)だ。おや、あれは何だろう。 〔　〕

(5) 例に従って、次の文に含(ふく)まれる助詞・助動詞に――線を引きなさい。

(例) 白い鳥が(助詞) 飛んだ。(助動詞)

昨日、私 は 図書室 で とても 古い 本 を 見つけ ま し た。